



中西 顕治

子どもの生活に関する実態調査の結果の活用を

問 家庭教育支援員を通じて配付する情報誌等に盛り込むなどの対応を行う。

答 う、家庭教育支援員を通じて配付する情報誌等に盛り込むなどの対応を行う。また、電話等で未申請、あるいは修正等の連絡対応も行なっている。

問 家庭支援員は学校生活の支援、指導を行うと聞いているが、社会保障制度の案内なども行うのか。

答 個人情報との関係もあり、行政側から家庭教育支援員の方に情報は直接開示できない。保護者と信頼関係を構築し、相談が受けられるようにしたい。

問 申請を出さないと給付が受けられない申請主義を改めて柔軟な対応はできないのか。

答 申請は制度上必要となつている。必要となる添付書類等の省略などの調整等は可能な限り相談に

問 低所得層に対して生活基盤確保のための現金、現物給付の導入が必要と考えるが、どう進めるか。

答 生活基盤を安定させるためには雇用対策や生活保障の制度創設、改善などについて、国、府へ要望を行うとともに、生活基盤確保の必要性が高い対象者にポイントを絞った検討を行う必要があると認識をしている。

一般質問



奥 久明

問 モバイルサービス「のせつ子未来応援ナビ」について問う。

答 本サービスの目的と内容について問う。

問 定期予防接種のスケジュール支援である。

答 登録利用者数の人数について問う。

問 8月末時点で95名である。

答 本サービスの案内は広報のせ6月号、7月号に載っているが、8月号、9月号には載っていない。

問 紙面の都合もあるが、新サービスなのでもっと広報に載せてはどうか。

答 全体的な記事の調整をしつつ、サイクルを見て掲載していきたい。

問 本町で使用している封筒に本サービスの案内とQRコードを載せてはどうか。

答 本町で使用している封筒に本サービスの案内とQRコードを載せてはどうか。

住民への情報発信

ホームページ
リニューアル



問 提案として受ける。

答 新サービスなので、ホームページ上でも目立つピックアップ欄にも案内を載せてはどうか。

問 ホームページの画面構成については調整が必要である。新サービスを広めていくことに取り組んでいきたい。

答 ホームページの画面構成については調整が必要である。新サービスを広めていくことに取り組んでいきたい。

問 前回のホームページとの違いは何か。

答 スマートフォンやタブレット端末での対応が可能となった。また全ての人にとって利用しやすいものにした。

問 LINEを使用した情報発信の予定はあるか。

答 現在のところ予定はない。ホームページを魅力的なものにすることが優先課題と考える。

問 LINEを使用した情報発信の予定はあるか。

答 現在のところ予定はない。ホームページを魅力的なものにすることが優先課題と考える。



http://nose-town.city-hc.jp